

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	急性大動脈解離術後の一酸化窒素吸入療法の治療効果に関する臨床研究
研究責任者	心臓血管外科：奥木聡志、小出昌秋
研究実施体制	当院のみです
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2021年12月31日
対象者	2017年1月以降当院で急性大動脈解離に対して体外循環を用いて人工血管置換術を施行した患者。術後一酸化窒素吸入療法を行った患者と行わなかった患者。
研究の意義・目的	一酸化窒素吸入療法は、新生児肺高血圧症や先天性心疾患患児の術後管理(肺高血圧、グレン手術後、フォンタン手術後など)では広く行われ、有効性が知られている。一方で成人の開心術後の一酸化窒素吸入療法の有効性を述べたデータは少なく、いまだわかっていないことも多い。 当院で急性大動脈解離に対して、体外循環を用いた人工血管置換術を施行した患者に術後一酸化窒素吸入療法を行い、その治療効果を検討し、以前の一酸化窒素吸入療法を行っていない群との比較を行って、一酸化窒素吸入療法の有効性について調査、研究を行う。
研究の方法	前向き観察研究＋後ろ向き観察研究です。 診療録から以下の項目の調査を行います。 術前診断、手術術式、術前後の生体データ、心エコー、CT、血液検査、Xp、心電図など情報は匿名化して取り扱います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 (氏名)奥木聡志 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00～17:00 平日